

Joint Studio 2 「TECH」

期間： 2019年3月23日～3月30日

場所： 日本（東京都23区 / 八王子市、群馬県前橋市 / 桐生市）

参加者： Kirsti Bræin (Fashion and Costume Design, KHiO)

Toni Kauppila (Interior Architecture and Furniture Design, KHiO)

オスロ芸術大学学生8名 (KHiO)

川井由夏（生産デザイン学科・テキスタイルデザイン専攻）

濱田芳治（生産デザイン学科・プロダクトデザイン専攻）

柳下恵（生産デザイン学科・テキスタイルデザイン専攻）

横井絵里子（生産デザイン学科・プロダクトデザイン専攻）

テキスタイルデザイン専攻学生9名、プロダクトデザイン専攻学生8名

概要：オスロ国立芸術大学デザイン学科と多摩美術大学生産デザイン学科の国際交流プロジェクト〈CONNECTING WOOL〉のJoint Studio2を実施。オスロ芸大の教員・学生が来日。テーマ「TECH」に基づき、日本のものづくりに焦点をあてたフィールドトリップと集中ワークショップを行った。

報告：上野毛キャンパスでキックオフミーティング後、5つの混成チームにわかれ、各チームのトピックに基づいて東京都心へリサーチに出かけた。翌日は、メンバー全員で一日フィールドトリップに出かけ、前橋市では新しいリサイクルを試みる企業、桐生市では織物工業や刺繍工場、伝統的な和紙工房などを訪問した。桐生で織物開発に携わるテキスタイルデザイナー (TD 卒業生) がレクチャーを行い交流した。翌日、再びチームごとに東京で終日リサーチを行い、その後、八王子キャンパスで3日間の集中ワークショップを行った。新しい素材開発を試みるアーティスト荒木宏介氏 (PD 卒業生) のレクチャーも実施。最終日には、ノルウェー大使館の協力により、大使館内で最終プレゼンテーションを行った。21-21 design site、株式会社アシックス、日本ヴォーグ社などから専門家、およびノルウェー文化に精通するファッションジャーナリスト、ノルウェーデザインを発信しているブランドの関係者などのゲストを迎え、各チームそれぞれがフィールド・リサーチで得た視点に基づくウールの活用を提案した。

本プロジェクトでは、このあと2021年までにJoint studio3、Joint studio 4、学生相互派遣、協力企業でのワークプレースメント（就労体験型学生派遣）の実施などが予定されている。

<https://k.tamabi.ac.jp/activity/kikaku/2202776/>

